

あじさい131号

「体験してもらおう、知的障害
理解してもらおう、知的障害」研修会開催



11月23日に県立総合体育館大研修室において知的障害の理解を広める活動をされている「あび隊」のみなさんを広島よりお招きし、研修会を開催しました。県内より104名の参加があり、知的障害疑似体験など、楽しく分かりやすい内容で、好評のうちに終了しました。



GH西北2が建設スタート



例年年明けに行われていた「新春ボウリング大会」が、「親睦ボウリング大会」にリニューアルして11月5日に開催されました。



育成会11棟目となるグループホーム西北2(仮称)の地鎮祭が行われ、いよいよ本格的な工事が始まりました。
平成30年3月末に完成予定です。

もくじ

- 障害理解を広める研修会開催
「あび隊」による知的障害疑似体験
- 家族支援ワークショップ
- 育成会ing
- 本人の意見を聴く会&福祉懇談会報告
- ハートセンター文化祭
- お知らせ



育成会研修会開催

体験してみよう、知的障害 理解してもらおう、知的障害

知的・発達障害のある人は外見上分かりにくいこともあり、地域における理解が十分に進んでいるとはいいがたく、必要な配慮も得られにくい状況にあります。こうした背景から、近年注目されているのが地域における知的・発達障害への理解を広めるための啓発活動です。親として、育成会として理解を広めるために私たちがやるべきことを知るヒントになるのではないかと思います、全国手をつなぐ育成会連合会より助成をいただき、広島県手をつなぐ育成会「あび隊」をお招きして今回の研修会を企画、開催しました。



「あび隊」のみなさんは知的障害の疑似体験を通じて障害理解を広める講座を開催されており、ここ4年間で出動回数186回、受講者総数は10100名にも上るほど活発に活動されています。対象は一般の方から教員、学生、児童生徒、ボランティアや民生委員など様々です。

疑似体験には「伝わらない、分からない」もどかしさを体験する「あび王国」や抽象的な指示がいかに分かりにくいかを体験する「絵を描いてみよう」や視覚体験、聴覚体験など、障害のある人が日ごろどれほどの大変さや困難を抱えているかを感じてもらおう内容となっています。



「あび国」の女王様
「あび」としか言えません

「あび王国」…「あび、あび」としか言えない架空の国を想定し、お互いの思いが伝わらない体験をすることで障害者の心情を理解しようとする試みです。



あび・あび・あび

実際に体験中

「あびあび」としか言えないあび語で懸命に指示されたことを伝えようとする人とそれを必死で理解しようとする人。「伝えたいのに伝わらない」「分かりたいのに理解できない」障害のある人のもどかしさや苦しさを体験します。

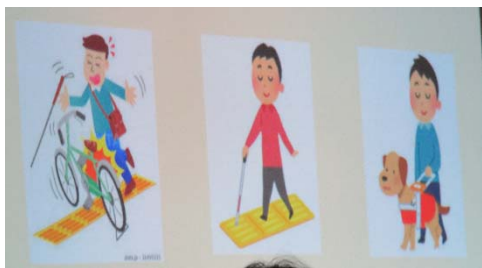
「あび」としか言えない役の人は「伝わらないもどかしさから悲しみや苛立ちの気持ちがありました。」。「あ

び」語を聞いて考える役の人は「何を伝えたいのか分からなくて、不安でした。時間が長く感じられました。」などの感想がありました。

次に参加者全員二人一組で「あび」語の体験をしました。「あび」語だけでは意思疎通が全然できませんでしたが、ジェスチャーを加えてやっと理解することができました。何を言っているのかわからないとき、私たちは勝手な解釈をして話を終わらせようとしがちです。本人の伝えたいことが伝わらないもどかしさや悲しみを改めて知るとともに、ジェスチャーや絵、写真など、工夫すれば伝わる



こともあることに改めて気づかされました。



「知的障害者の理解」のコーナーでは、他の障害（視覚、聴覚等）と比べて理解を促したり、ご自分の子どものエピソードを織り込み、分かりやすく説明をして頂きました。

知的障害の理解には、私たちを取り巻く環境が障害になっていることがあり、その壁を低くしていくことが重要だと思いました。知的障害者は何もわからないわけではありません。考えを伝えたり、

言い返すことが苦手なだけで、皆と同じように思いを持っていることを改めて実感しました。



視覚体験…ペットボトルの小さな穴からスクリーンに映し出された絵を見て指定された猫を探します。実はこの時、そばで着ぐるみを着た人がウロウロしていたのですが、視野が狭く、一つのことに集中している為、着ぐるみの人に気づいていませんでした。知的障害の人が一つのことに集中すると周りに注意が行かなくなるという体験でした。

体験者の感想：「視野が狭くて見つけにくかったです。一つのことに集中しているときはまわりのことを感じるのが難しいです。」

聴覚体験ではざわざわした声がる教室で先生の言っていることを聞き取るという内容でしたが、ほとんどの人が先生が何を言っているか聞き取れないと言っていました。知的・発達障害のある人は必要な声を聞き分けることが苦手な人も多く、いろんな音が同じ大きさに耳に入ってくるため、自分の必要な情報を聞き分けられないという体験でした。

今までに、体験したことのない心が動かされる内容でした。参加者からも「楽しかった」「あらためて考えさせられる」「知的障害の理解につながった」などの感想をいただき大好評でした。



今回の研修では、短い時間の中でたくさんのことを学ばせていただきました。

広島のみなさんも他県で行われていた疑似体験の活動を知って、「うちでもやってみようよ！」と始められたそうですが、回を重ね大きな活動となり、24名で始められた活動も現在50名近くの隊員がいらっしゃるそうです。参加者の中には、「子どもの辛さを考えていなかった。」「斬新な体験に感動した。」「言葉で伝えることが本当に難しいと思った。」「知的障害の子供の気持ちが少しわかった。」「これまでで一番いい研修だった。」など感想を頂きました。「あび隊」のみなさんからは「長崎でのキャラバン隊結成を待ってます！」と言っていただき、またアンケートにも「私もやってみたい。」という力強い言葉もあり、障害のある人たちのことを理解してもらうために私たちも長崎で頑張ろうというやる気と勇気、パワー全開のあび隊の皆さんから元気をいただいた1日となりました。



パワフルな「ひろしまあび隊」のみなさん

長崎市育成会家族支援ワークショップ」開催

10月24日、「長崎市手をつなぐ育成会家族支援ワークショップ」の2回目を「子育てと就学」というテーマで行い、就学前のお子さんをお持ちの保護者の皆さんとファシリテーターを含めて18名が参加しました。ご夫婦やお子様連れの方の参加もありました。



「心に栄養を注ぎましょう」のスライドを観ながら、子どもに障害があると知った時点から現在までの参加者の体験や気持ちをお聞きしました。心理学の世界で知られる「私も OK、あなたも OK」「過去と他人は変えられない」「どんな気持ちもあっていい」という心の栄養となる言葉が紹介されました。

今回は、「親自身が障害のある子どもに関わる時『可能性』を見るよりも『できないこと』に目がいってしまう傾向がある」ということを考えてみるために「親のホンネチェックシート」を行いました。「子どもの将来は自分が決めてあげなければ」「子どもの世話をしていないと不安になる」等の項目が並び、該当するものが多いと「自分がいけないのか…？」と落ち込みますが、これは評価をするものではなく今の状態を知るきっかけにするもので、いろいろな気持ちがあるということ認め、気がついたことから次の一歩を始めることが目的です。該当するものがなかった方も、他の方の話を聞くうちに「親亡き後はどうなるんだろう？」と不安になってこられたようです。

次のグループトークでは、一番の関心事である「うちの子に合う学校選び」について話し合いました。「どこがうちの子に合うのか分からない」「いじめられたらどうしよう」などの不安な気持ちや先輩方の体験談にも様々な質問が寄せられました。特別支援学校、特別支援学級、普通学級のどこが良いという答えがあるのではなく、必ず見学や体験をして我が子の様子を観たり、専門機関に相談して判断したほうが良いとのアドバイスを皆さん真剣に聞いていらっしゃいました



「どこの学校が良いの？」「評判の良い校区に引っ越した方が良いの？」などの不安に対し「どんな学校でも入学や卒業の時は環境が変わるので、それを機会に違う学校を選びなおしてもいいのでは？」と、実際学校を選びなおした体験談を聞いて安心されたようでした。

参加者の感想

- ・ドラマでの一コマ、「子育てについて、『俺も手伝うから』との夫のセリフに、医師が『手伝う、じゃないだろ。あんたの子どもだよ』肝に銘じて子育てします。(保護者父)
- ・楽しかったです。また次も参加します！

来年の3月17日(土)には、学齢期の保護者を対象に第3回ワークショップ「自分の気持ちを見つめることは大事です」の開催を予定しています。会員以外の方も OK です。ぜひお友達を誘ってご参加ください。

育成会ing

GH西北2(仮称)の建設工事が始まりました

長崎市育成会11棟目となるグループホーム西北2(仮称)の建設が始まりました。当育成会では初めてのワンルーム型グループホームで、来年4月開設を目指しています。

これまでの経過、今後のスケジュールは下記のとおりです。

- 平成29年10月26日(木)…新築工事入札会終了
(株)森美工務店
- 平成29年10月30日(月)…工事着工
- 平成29年10月31日(火)…地鎮祭終了
- 平成30年1月13日(土)…開設説明会・・・※別紙申込書参照
- 平成30年3月31日…工事完了予定
- 平成30年4月中旬入居予定



10月31日に地鎮祭が行われました。

育成会事業所の移転準備が進んでいます

あじさい130号に掲載しておりました育成会事業所移転の準備が、下記の日程で進んでいます。

- 平成29年11月17日(金)…改修工事入札会終了 (株)森美工務店
- 平成29年11月20日(月)…工事着工
- 平成30年3月31日…工事完了予定
- 平成30年4月1日…事業開始予定
- …移転の目的は…

- ①夢工房みどりの建物の老朽化と立地条件の不便さを解消するためです。
- ②本部事務局及び長崎市中心部の賃貸事業所を集約することで、効率的な家賃負担と業務の効率化、利便性を図るためです。

◎移 転 先 長崎市大橋町19番19号 1階,2階

◎移転事業所 2階…夢工房みどり

1階…本部事務局、啓発事業、さんらいず移行事業所、ヘルパーステーション、ケアプランセンター、タイムケア事務所、相談支援事業所
グループホーム事務所

第41回施設職員球技技術研修大会参加

長崎県知的障がい者福祉協会の主催で毎年行われている球技大会に長崎市育成会の各事業所の職員がチームを作り出場しました。今年は10月7日(土)に諫早市で17チームが参加して開催されソフトボールで勝敗を競い、長崎市育成会チームは見事Dパートで準優勝しました。



本人の意見を聴く会が開催されました！

毎年開催されている「障害者施策に関する意見を聴く会」が11月14日（火）13：30より県庁にて開催され、長崎県手をつなぐ育成会本人部会「長崎きずな」連絡協議会より提出された本人たちの要望を県内4名の代表が伝えました。前もって提出されたものも含め、すべての要望に対し障害福祉課の担当の方から丁寧な回答をいただきました。長崎市育成会からは本人部会FICS会長の中島竜之介さん（さんらいず）が出席し、障害福祉課のみなさんに自分たちの生活を知ってもらうために、生活や仕事、余暇活動などの紹介を含め「障害のある人たちが作ったものをもっとたくさんの店で売ってほしい。新しい県庁に福祉のお店を作ってほしい。ハローワークの求人票にルビを振って、分かりやすい言葉にして、障害のある人がもっと働きやすい世の中にしてほしい。」とご自分の要望を話されました。



福祉懇談会が開催されました！

11月21日（水）9：30よりハートセンターにて「第49回長崎市障害者福祉懇談会」が開催され、長崎市心身障害者団体連合会に所属する団体の代表が参加し、A項目に上げられた各団体の要望を田上市長をはじめとする市の障害福祉課の代表に伝えました。長崎市育成会からは谷理事長と長島理事が出席し、ここ数年要望しているにも関わらずなかなか進まない移動支援のグループ型導入や利用範囲の拡充について、「移動支援の利用者と提供事業者の意見交換の場を設け、課題や疑問点の把握、検討とガイドラインの作成」について要望しました。それについて、「どういうところまでできるのか、できないのか検討していきたい。ガイドラインについては11月末を目途に現在作成中であり、その後周知していく」という回答をいただきました。ほかの団体からは

「災害時の透析患者への防災情報システムの確立について」「精神障害者の福祉医療費の2級までの拡大について」など、それぞれの障害の立場からA項目が8つ、B項目には5つの項目が要望として上げられ、それぞれの要望について文書で回答をいただきました。



「いろんな場で状況をお聞きして、『なぜ必要なのか?』『何ができるのか?』教えてもらいながら、同じ方向を見て手探りで進みたい」とあいさつされました。



グループホーム入居者が自宅から使えないことなどを含め、親亡き後、移動支援が大切な事業であることを訴えられました。



'2017' ハートセンター文化祭

11月19日(日) 今年もハートセンター文化祭が開催されました。ハートセンター3階の体育館は、外の冷気を吹き飛ばすような熱気に包まれました。

毎年、この日のために練習をしてきた皆さんの発表や作品は、素晴らしく自信に満ちていました。

ステージゲストでは、南米・アンデス地方を中心とした民族音楽(フォルクロレ)を奏でるグループ「インカニャン」の演奏! のほかに純心大学保育実践研究会「スマイル」による児童演劇がありました。

センター利用団体によるステージ発表では、プロに負けないようなダンス、タイムケア「ぴあのん」によるピアノ演奏、華麗な車椅子ダンスなどに育成会会員さんの参加がありました。また、作品展示では、本人講座「書道」より竹内まりあさんの詩を合同作品として展示、パソコン教室「みんなともだち」からはそれぞれの育成会会員さんの作品が展示されました。



育成会本人講座「書道教室」

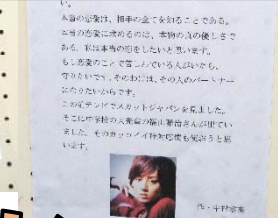


葛島弘基さんの作品

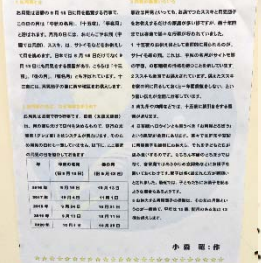
井口奈都子さんの作品



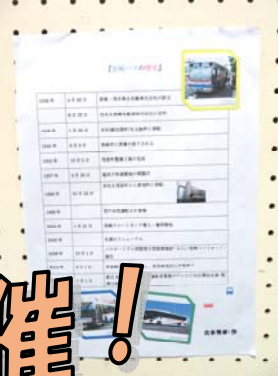
中村零来さんの作品



小森昭さんの作品



内藤和幸さんの作品



育成会ボウリング大会開催!

毎年2月に開催されていた育成会新春ボウリング大会が今年はスポーツの秋にふさわしく11月5日(日)に大橋町のラッキーボウルにて開催されました。31名(本人23名、家族8名)の参加があり、みなさん和気あいあいとボウリングを楽しまれました。



参加されたみなさんで記念撮影、「はい!チーズ!!」



優勝は佐藤一朋さん(中央)、2位は会員の衣本苗子さん(写真は娘さん)、3位は谷山太一さんでした。

おしらせ



社会福祉法人
 長崎市手をつなぐ育成会 広報部
 長崎市茂里町2-41
 長崎障害福祉センター内
 TEL&FAX : 095-847-1290
 E-mail tewotunagu@hi.enjoy.ne.jp

習字

日時:第4土曜日 午後1時~

☆12月はお休みです。

場所:ハートセンター社会適応訓練室

会費:1回 500円

フラワーアレンジメント

日時:第2・第4土曜日 午前10:30~ ただし12月は12/28のみ

12/28のお花を希望される方は12/20(水)までにお申し込みください。

場所:ハートセンター5F 社会適応訓練室 会費:1回 1300円(12/28は2000円)



お楽しみ倶楽部

日時:12月17日(日) 内容:クリスマスケーキ作り 500円(材料費) 13:00~15:00

日時:1月21日(日) 内容:風船バレー 200円(飲み物代) 13:00~15:00

集合:ハートセンター1Fロビー

※今年度より人数把握のためにお申し込みをお願いします。

お申込み、お問い合わせはハートセンター事務局まで。

ハートセンター事務局 ☎847-1290

お楽しみ倶楽部会費についてのお知らせ!

今年度から年会費はいただきず、毎回実費をご負担いただくような方法に変更させていただきます。ご面倒をおかけしますがご理解、ご協力よろしくをお願いします。

会員定例会

12月の定例会 14日(木) 10:00~12:00 場所:ハートセンター5F 会議室

「キャラバン隊ってなに?」...11/23に開催された広島「あび隊」の皆さんによる知的障害疑似体験を映像で振り返りながら、私たちが長崎でできる啓発活動について考えます。

1月の定例会 19日(金) 13:00~15:00 場所:タイムケア事務局

お申し込みはタイムケア事務局 ☎893-6096

(茂里町電停前ローソン2F)

平成30年 新春親子のつどい

とき:平成30年1月6日(土) 13:00~16:00 ところ:ハートセンター3階体育室

お問い合わせはハートセンター事務局へ:☎847-1290

新年会

とき:平成30年1月6日(土) 18:00~20:00 ところ:ルークフラザホテル

会費:6000円

●送迎もあります。

申し込みは 12月11日(月)までにハートセンター事務局へ ☎847-1290

